

【課程—2】

審査の結果の要旨

氏名 岩白 訓周

本研究は、統合失調症の病態の1つである被害関係妄想における、批判的な音声に対する認知障害の関与を検討するため、批判的な音声を提示する心理課題を作成した。機能的磁気共鳴画像撮像中に、この心理課題を実施し、批判的な音声に関連する脳活動を検証したものであり、下記の結果を得ている。

1. 健常対照群では、批判的な音声に対し、その意味に注意を向けていなくても、向けている時と同様に、音声の意味処理に関わる、下前頭回や上側頭回後部の活動が認められた。
2. 統合失調症群では健常対照群に比べ、批判的な音声に対して、音声の意味処理に関わる下前頭回三角部の活動低下が認められ、この低下と妄想の強さの相関を認めた。

以上、本論文では、統合失調症群に新たな心理課題と機能的磁気共鳴画像を用いた研究から、被害関係妄想の形成と批判的な音声に対する認知障害との関連が神経基盤レベルで示唆された。

これらの結果は、未解明なことが多い統合失調症の被害関係妄想の成因について、生物学的な知見をもたらし、病態の解明、診断法や治療法の確立に寄与するという点において、重要な貢献をなすと考えられ、学位の授与に値するものと考えられる。